



ポーポキが住む神戸では、10月と言えば、紅葉の始まりとハロウィーン！
ポーポキはどちらも大好きです。みなさんも安全で楽しい秋の散歩とハロウィーンをエンジョイしてください！

Popoki's Hot News!



11月のイベント：12日～13日 神戸大学平和フォーラム映画祭！
12月のイベント！12月10日～11日 子どもの権利条約フォーラム2016 in 関西についてです。特に11日の午前、A-7セッション。
事前登録が必要です！詳しくは本号、p.9をご参照ください。



ポーポキのピース・ブック3や「ポーポキ友情物語 ～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅～」

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、元気って、なに色？』や、ポーポキのほかの本は、お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸 YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、および感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのはやしにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。「子どもがくだらないことできょうだいげんかをしているときに平和を感じます。うるさいなあ、とも思いますが、平和じゃないと、こんなきょうだい同士の甘えも許されないなあ、と自分を納得させるのです。」
あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール ronniandpopoki@gmail.com !



瀬チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>



**ポーポキ・ピース・プロジェクト・Popoki Peace Project
10th Anniversary**



ポーポキ・ピース・プロジェクト創立 10 周年をどのように記念しましょうか？

- ポーポキ・ピース・プロジェクトができて10年。
- 4冊の絵本。たくさんのにゃん友だち。さまざまなワークショップ。スタディツアー。延べ約200メートルのポーポキ友情物語の布。
 - 数々の笑顔。
- 最初の10年をふりかえり、次の10年に向けるためにどうすれば良い？みんなの素敵なアイデアをお聞かせください。
 - 今まで出たアイデアはたとえば…
 - 新しいTシャツをつくる
 - グッズ（バッグ、帽子、クリアファイルなど）
 - ポーポキ郵便切手
 - 映画の上映会（原爆を中心？ちょっと高いものとか、数本とか？）
 - ポーポキを語り合うパーティーや合宿
- 子どもの権利条約フォーラム2016の分科会を立ち上げる



**あなたの提案は？ronniandpopoki@gmail.com へ
ぜひあなたの素敵なアイデアをお送りください！**





都賀川水難事故犠牲者を偲ぶ会」に参加して

ちゃんにゃん&やこにゃん

2016 年、7 月 28 日に神戸市灘区の都賀川公園で「7 月 28 日を『子どもの命を守る日に』実行委員会」による「都賀川水難事故犠牲者を偲ぶ会」が開催され、ポーポキ・メンバーも参加しました。一時間ほどのセレモニーでしたが、公園には 100 人以上の人が集まり、通りがかった人々も足を止めて、真剣に話に聞き入っていました。

この痛ましい事件は、8 年前、2008 年 7 月 28 日の昼過ぎに起こりました。快晴から一転して局所的な集中豪雨が起こりました。わずか 15 分で川が増水し、都賀川とその河川敷にいた 16 名が流されました。そして、保育園児 1 名、小学生 2 名を含む、尊い 5 名の方の命が奪われたのです。

ポーポキ・メンバーは、神戸大学国際協力研究科の学生とともに、折鶴を作りました。ろにゃん先生からいただいた分（神戸大学以外のポーポキ・メンバーが折ったもの）を合わせて、1 メートルの長さの折鶴が 10 束ほどできあがり、当日、ポーポキプロジェクトを代表して、ちゃんにゃん、ちゃくまにゃん、やこにゃんが会場に捧げました。

また、当日はろにゃん先生による素晴らしいスピーチも行われました。スピーチは、いまこの瞬間にも子どもたちの多くの命が奪われていることを私たちに意識させるとともに、この都賀川の事件を風化させず、その教訓を防災につなげていく必要性を訴えるものでした。中でも、ろにゃん先生の「子どもを大切にしない社会はあってはならない」という言葉は私たちの心に強く響きました。ろにゃん先生は、弱者である子どもの命や健康が守られ、みんなが安心して暮らせるような社会にしていこうという激励のメッセージをみんなに送りました。

最後に地元の中学校の合唱部と高校の合唱部が、それぞれ数曲ずつ祈念の歌を捧げました。歌声の美しいハーモニーはとてもすてきなものでした。アメージング・グレースの歌詞とメロディは、私たちポーポキ・メンバーに感動を与えました。

7 月 28 日は、記憶を継承し同じことを二度繰り返さないための誓いの日です。セレモニーの後に歩いた都賀川の下流では、たくさんの人々が川遊びを楽しんでおり、都賀川の水難事故を語り継いでいくことの大切さを改めて胸に刻みました。



ポーポキ in 大槌町&釜石 2016.10

徳島大学大学院医歯薬学研究部総合診療医学分野 助教 鈴記好博

10月7日から10日の4日間、ろにゃんとさとにゃんとともに、岩手県大槌町と釜石市へ訪問いたしました。私は、東日本大震災直後から AMDA 兵庫の一員として数回、被災地である釜石・大槌へ訪れており、今回は約4年ぶりとなる東北再訪でした。

大槌町はまだ空き地だらけの至る所工事現場のような状況でした。まるで4年前に訪れた時と同じような風景でしたが、その土地は一樣に3mかさ上げされているということで、やっといくつかの住宅が建ち始めているところを見ることができました。お会いした方々からは、「町中、公園ばかりになりそうだ」、「我々が死ぬまでには、この町は元には戻らないだろうなあ」という言葉に胸も詰まりましたが、「5年たってやっと地元の人と津波の話ができるようになった」、「元に戻ったわけではないが、リセットできた」というお話や、「津波の後、人との関係性が変化したことで外に出られなくなっていたけれど、いつもでもこんなことではいけないもんねえ。大丈夫ですよ」、と笑顔でお話しいただけた方の様子を見ることができて、この地も、そして人々も一步一步少しずつ、確実に前に進んでいるのだなあと感じました。



(大槌町の中心部の様子 2016.10.7)

釜石では、私が当初、緊急医療支援で入った避難所であった釜石中学校の校長先生であられた渡邊先生と再会することができました。渡邊先生とはその後、ずっと親しくして頂いておりましたが、私が今回岩手再訪の前日に奥様がお亡くなりになられました。私も奥様のお見舞いに間に合わなかったという心残りはありますが、ご葬儀に参列させていただきましたことは、渡邊先生との縁を感じました。ご心痛の時にもかかわらず、お食事にお誘いいただき、精力的に防災の講演、講義のため全国を飛び回っている先生のお話を聞くことができました。

このたびの訪問でも大変勉強になりました。

これから仮設住宅や復興商店街の閉鎖も始まっていきます。今後も関わりを持っていけたらと思っています。

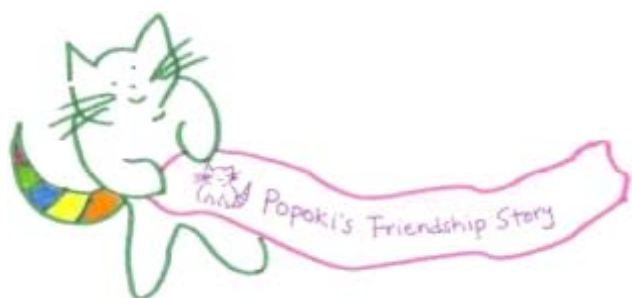
今回の岩手再訪の機会をあたえていただきましたろにゃん、さとにゃんをはじめ、現地でコーディネートいただいた元持さん、地元で地域医療をされている植田先生、道又先生、写真家の伊藤さん、渡邊校長先生、柏崎さんご夫妻ほか、知り合えた皆様に感謝申し上げます。

また誘ってね。





(夕日を浴びるひょっこりひょうたん島 2016. 10. 7)



Popoki's Interview

聞き手: はづにゃん

今年2月の大槌町でのボランティアを振り返ってのお話を聞きました

東日本大震災から5年と半年が過ぎました。テレビや新聞などの報道でも3.11やその後の人びとの生活について語られることはどんどん減り続けているように感じます。今回のインタビューは、今年の2月にポーポキと岩手県大槌町にボランティアに行ったまゆこにゃんとまいかにゃんにお話を聞きました。実際に大槌町に行ってみて感じたこと、自分の中で変わったと感ずること、ボランティアから半年たって改めて今感ずることなど、色々なお話を聞かせてくれました。

○まず、2016 年の 2 月に大槌町に行こうと思ったきっかけはなんですか？

まゆこにゃん（まゆ）：3.11 が起こった時に、自分が大きな揺れを感じたり、家を失ったりするという意味での「被災」はしませんでした。だからなんとなく東日本大震災をそこまで身近に感じることはありませんでした。だけど震災後に大槌町に行った友人から機会があればいった方がいいと勧められたこともあって、自分も「被災地」に行ってみようと思いました。

まいかにゃん（まい）：私にとって東日本大震災は、人生で自分の記憶にある限り初めての大きな地震でした。震災があった時は東京にいて、パニック状態みたいな東京の街を見て、何か大変なことが起こっている！と思いました。それがとにかく怖かったのを今でも覚えています。それから東北に行ってみたくてずっと思っていました。だけどそれまで機会がなくて結局行ったことはありませんでした。そして今回、ポーポキで行ける機会があって、震災から 5 年たった街の様子がどんな風かも気になっていたんで、行こうと思いました。

○行ってみて、特に印象に残っていることは何ですか？

まい：ポーポキのメッセージが描かれている布を地元のスーパーで展示しているときに、話を聞かせてくれた方たちのことですね。ご家族の形見の指輪についての話を聞かせてくれたおばあさんのことなどがあります。

まゆ：私も、震災の時に海外に出張に行っていて、帰国して大槌の家族と再会できるまで涙が止まらなかったというお父さんの話を覚えています。大槌町の皆さんが、そういうすごくプライベートな話を私たちにしてくれることにとってもびっくりしたし、とても印象的でした。

まい：そうですね。そういう当時のことを思い出して話すと自分がしんどくなるかもしれないし、話したくないのかもしれないと思っていましたが、むしろ皆さんの方から話してくださいました。

まゆ：近い場所で被災した人同士だと、それぞれみんなつらい思いを持っているはずだから、逆に見ず知らずの人の方が話しやすかったりするのかもしれないですね。

まい：なんだか、ボランティアをしに行くっていうより、むしろ話を聞かせてもらいに行った、というような感じでしたね。

まゆ：そうですね。お邪魔します、みたいな感覚でした。



高台から見下ろす大槌町の様子

○街の印象などはどうでしたか？

まゆ：街は更地で、なにもなかった印象です。行ったのが 2 月ということもあって、寒かったし、グレーの空とグレーの更地だったのをすごく覚えていますね。

まい：行くまでは、震災から 5 年も経っているし、津波のあとの場所も新しい建物の骨組みくらいはあるのかと思っていました。だけど、ほんとに何もない土地のままで、びっくりしましたね。街の海側は特にそうだったと覚えています。

まゆ：それから、なんとなくですが街の中の人が集まる場所に来られていたのは女性が多いなという感じがしました。男の人はそういう集まってお喋りしたりする場所には来にくい

のかもしれないですね。

まい：そうですね。タクシーの運転手さんで「男は集まれる場所がないし、気軽に行って集まれるような銭湯とかがあるといい」と言われた方がおられました。

○大槌町に行ってみたことで自分の中で変わったと覚えることはありますか？

まい：大槌のことが気になるようになりました。震災関連の文献とかを探していても、題名とかに「大槌」って入っていると無意識に手にとっていたりします。

まゆ：そうですね。耳に入ってくる 3.11 関連のニュースや、震災に関して聞く話がすごく身近というか、リアルに感じられるようになりましたね。

○先ほど、5 年経っても街は更地のままだったというお話がありましたが、では復興のためには何が必要だと思いますか？

まい：うーん、すごく難しいですね。変な話、経済面での資源価値という意味で「重要度の高い」地域の方が早く復興していたりするなあとは思います。

まゆ：それから、「復興」が何を意味するのか、ということもありますよね。震災前の元通りの街にすることを目指すのか、それとも今までより災害に強い街を新しく作り上げるのか、という点ですね。



大槌町の方が描いてくれたポーポキ

まい：そうですね。何が必要なのでしょう。信頼できる先頭に立つリーダーなのか、市民の意見を交換できる場所なのか、それともお金なのか。お金も、いろんな地域でまだまだ生活に困っている方がいる中で、どの地域のどの分野に割り振るのかという優先順位をどのようにつけられるのでしょうか。復興財源がちゃんと必要なところで使われているのかも気になりますね。

まゆ：でもやっぱり、たくさんの方が自分で現地に行って、見たり聞いたりするのって大切だと思います。心をオープンにして現地に行ってみることで、それまでの「被災地」とかのイメージとかとは変わってくるのではないのでしょうか。自分にとって身近になるし、気になる存在になると思います。

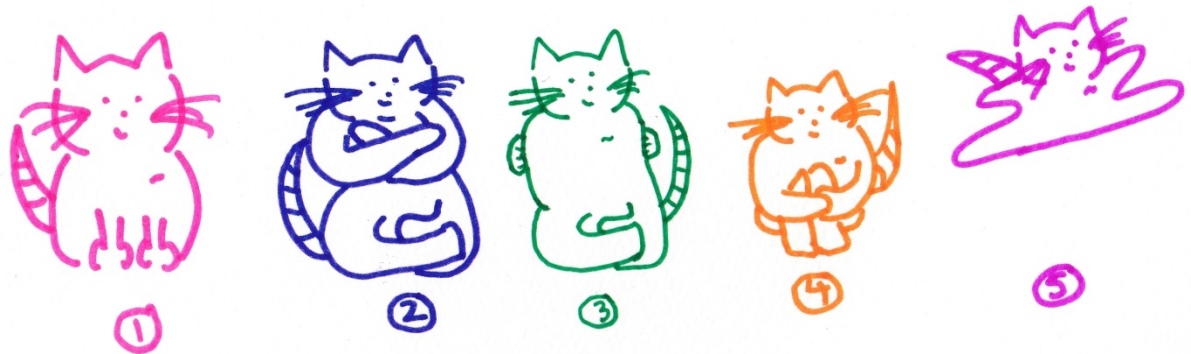
5 年半経ってもむき出しの更地のままの「被災地」が前進していくためには何が必要なのでしょう。ボランティアをする！とか肩ひじ張らなくても、自分でできそうな何かを見つけたり、復興って何なのかを考えてみることも大切なのかもしれないと感じました。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 101

今月のテーマは、涼しくなったら暖くなる方法



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、最近は涼しくなりましたね。まずは座って、背筋を伸ばしながら腕を組みましょう。そして、力をいっぱい自分ハグ！終わったら、しっぽと手と足の位置を入れ変えてね。
 3. 次は、後ろから同じように自分をハグ！今回もしっぽと手と足を入れ変えましょう。
 4. 今度は、体操すわり。力いっぱいひざを身体にくっつくようにハグ！手としっぽを入れ変えられる？
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポ一会：11月18日 19:30～ YMCA 201

- * 10月26日 ポーポキat網干高校 ワークショップ
- * 10月31日～11月2日 ポーポキ at ピッツバーグ大学 (アメリカ)
- * 11月3日～5日 ポーポキ at トロント・ヨーク大学 (カナダ)
- * 12月10月～11日 子どもの権利条約フォーラム in 関西参加。ポーポキの分科会A-7は12月11日の午前中に開催されます。ろにゃんがファシリテーターです。参加費：25歳以下 無料 / 26歳以上 2000円(二日間)。事前申し込みが必要ですが、団体申し込みをしますので、11月20日までに林に返事をしてください。URL: <http://kodomonokenrikansai.wixsite.com/network>; FaceBook: <https://www.facebook.com/kodomokenri2016/>
- * 12月14日 ポー年会!!!
- * 2017年2月2日～6日 ポーポキ in 大槌町 (予定)

ポーポキの友だちからのお知らせ

- 11.12~13 神戸大学平和フォーラム 社会科学系資料映像連続上映会～ドキュメンタリーから見る世界と日本～ 8:00~19:00 会場：神戸大学六甲台キャンパス第1学舎320教室 無料！
詳細：神戸大学平和フォーラム <http://iws1970.web.fc2.com/forum.html> (近日中に掲載予定) 六甲祭公式サイト： <http://home.kobe-u.com/rokkosai/>

Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー : <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange

<http://www.interpeople.or.jp>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO : 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれないか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きください。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk33web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8. 10面





私にとってもポーポキ

Anna-nyan

「ポーポキ、おはようございます。元気にゃ？日本の天気はどうにゃ？」

私がはじめてポーポキに出会ったのは、大学院で勉強をしはじめたときです。ポーポキはねこで私はねこが大好きだから、さっそくお互いにかかわりを持つようになりました。でも、すぐにわかったことは、ポーポキは賢いねこです。そして彼はほかのねこのことや、声なきねこに声を与えることを考えたりします。

あなたは平和について知っているにゃ？平和の色や形や、世界のすべてのところにいるすべての人にとって平和はなぜ大切かについて考えたことはありますか。今日の世界において、私はこのような質問をしないわけにはいきません。たとえば、毎日何千人も人を殺したり移住させたりする絶えない戦争を考えたらわかりません。それと人々が家や持ち物を失う原因となる災害。それとも飢餓で多くの人が飢死してしまう。このようなシナリオはとっても遠く離れているように感じるけれど、私たちはみんな関係していませんか。それとも、関係すべきではないでしょうか。

ポーポキは、どの人も残酷な運命に出会いうることを示してくれました。あなたがお金もちか貧しい、若者かお年寄り、ヨーロッパ出身かアジア出身かアメリカ出身かアフリカ出身かは関係ありません。私たちはみんな同じです。これは、ポーポキと一緒に津波を受けた町、大槌町に行ったときに気づきました。日本は私の祖国から一万キロも離れているにもかかわらず、日本の人々は私と同じようなものを怖がり、同じように故郷を想い、そして同じようなことで喜んだりします。なので、同じ人間やねこだから、できる限り支援したいと思いませんか？ただ単に新しい状況や人を受け入れれば良い。そして、あなたが感じていることを人に話すことを怖がらないでにゃん。

ポーポキ、新しい体験を与え、視野を広げてくれてありがとうにゃ。平和。にゃ！



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500 円 何円でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!